

はまだより

はまかげの
40周年

パナソニック松愛会
横浜東支部／横浜西支部



2022年11・12月号 No.145
ホームページ <https://www.shoai.ne.jp/yokohama/>

発行人 飯塚 久典
編集人 後藤 喜行

イベント続々開催！秋晴れの鶴見川で植生保全活動

秋～冬は、たくさんのイベントが企画されています。皆様のご参加お待ちしております！



「鶴見川鴨居高水敷」 植生保全活動



10月1日(土)、第37回鶴見川河川敷植生保全活動を実施しました。この活動は神奈川県横浜治水事務所の呼びかけで、NPO法人鶴見川流域ネットワーク(TRネット)と連携し、2009年から継続しています。

さわやかな秋晴れの中、松愛会、エコリレージャパン、労働組合、TRネットから総勢38名の方が参加。TRネットの小林事務局長からの作業内容レクチャーのあと、「野萱草(のかんぞう)」の株分け、畑づくり、植え付け作業や、周辺の外来植物や雑草の除去などを実施しました。

作業は、マスク着用とこまめな水分補給を徹底し、無事終了しました。残念ながら、秋恒例のB B Q大会は中止となりましたが、心地よい疲れを感じながら解散しました。

次回は2023年6月を予定しております。お子様、お孫様を含め皆様の積極的な参加をお願いいたします。



鴨池橋をバックに、全員集合(撮影時のみマスクを外しました)



花の周辺の雑草抜き取り作業



掘った畝に株を植え込む作業

10月のイベントにご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。新会員懇談会、社会見学会の様子は、ホームページをご覧ください。11月からのスケジュールを紹介します。皆様のご参加お待ちしております。

イベント名	開催日時	会場	内容
食の健康イベント	11月5日(土)	オンライン	詳細は下記参照
女性会員懇談会 大河 de ランチ	11月18日(金) 10:30～	集合場所： JR根岸線「新杉田駅」 改札口	NHK大河ドラマゆかりの施設「金沢文庫」見学後、ホテルで贅沢ランチ懇談 参加費用：2000円(当日) ※女性会員限定イベント。 対象者へは10月中旬案内状発送済み。
文化保健クラブ 世話役懇談会	11月26日(土) 11:00～	新横浜ホール 加瀬会議室(新横浜)	詳細はEメールで連絡済み
新春懇親会	1月28日(土) 11:30～	会場は未定	松愛会50周年・支部40周年記念行事とあわせての実施を予定

※なお節目懇談会は中止になりました。

「食の健康」オンラインセミナーのご案内

「食の健康」は、健康寿命を延ばして、楽しく充実した人生100年時代を目指す健康づくりの基本を知る場です。

今回は、ヤクルト本社で健康づくりのプロとしてご活躍の石原真理先生をお招きし、「腸からすこやかに～免疫機能を維持しましょう～」のテーマで、オンラインによりご講演いただきます。

◆日 時：11月5日(土) 午前10時～12時

*オンライン参加(Zoom)をご希望の方は、下記アドレス宛てにメールでお申し込みください。

支部行事・イベント申込用アドレス：yokohama-w100@shoai.ne.jp

※不明な点等がございましたら担当支部役員までお願いします。(担当支部役員 山 香織)



石原真理先生

文化保健クラブ

横浜東・西支部には関東オープンを含めて、次の14クラブがあり、活発に活動しています。皆様のご参加をお待ちしています。ご希望の方は、支部HPの「クラブ紹介」に記載されています連絡先にご連絡ください。 ※印は、関東オープン

クラブ名	例会・活動日	主な活動場所	参考・備考
ぶらり会(歩こう会)	毎月第2土曜、第4木曜	「はまだより」、HPで紹介	だれでも何時からでも参加可能
山酔会(山歩き)	毎月第1水曜	関東近郊の山行	初心者から、中級者まで楽しめます
かもめ会(ゴルフ)	3, 5, 9, 11月 第1 or 3木曜	本厚木CC	名門コースをリーズナブルな料金で
テニス部	毎週火・金曜	新横浜公園コート、他	春季合宿、松愛会全国大会など多彩な活動
麻雀クラブ	毎月第2・4木曜	麻雀サロン・シルバー	認知症予防の楽しい脳トレ・ゲーム
囲碁クラブ	毎週金曜	佐江戸 N2 棟SSGルーム	プロ棋士の指導碁あります
カラオケクラブ	毎月第1・3木曜	桜木町「カラオケ杉の子」	飛び入り歓迎!
書道部	毎週木曜	佐江戸 N2 棟SGルーム	温知会所属。月次及び試験に清書を出書。他
料案会(男の料理)	毎月1回 第4火 or 木曜	十日市場地区センター	和、洋、中華、デザートなど毎回3品程度調理
写真クラブ	毎月1回	関東一円の撮影ポイント	撮影会、鑑賞会を交互に開催
釣りクラブ(海)	春・秋の年2回程度	東京湾、相模湾	ビギナーにはベテランがサポート
ハムクラブ	毎週水曜	自宅からオンエアミーティング	ハムフェスティバル参加、他技術交流会など開催
関東俳句部会 ※	毎月第2日曜	佐江戸 N2 棟SGルーム	興味のある方は是非どうぞ
みずえ会(水彩画) ※	毎月第2 or 3土曜	春秋屋外、夏冬室内作成	年一回松愛展開催、他スケッチ旅行など

『支部設立40周年記念号』の舞台裏

横浜東・西支部では、今年11月に設立40周年の節目を記念し、はまだより増刊号『支部設立40周年記念号』を発行、記念号編集長である小野喜一さん(はまだより前編集長)に発行への思いを伺いました。

今回の記念号は、10年間の横浜東・西支部の活発な活動が写真中心に編集されています。まさに10年間の歴史を紐解く集大成です。2015年から、カラー化により、活動の様子がよりリアルに伝わってきます。

小野さんは、永年、広報宣伝で培った企画・取材・編集力を生かして、編纂に臨みました。

「特に、10年間の変化を感じさせてくれる写真を選び、掲載、編集を行いました」と小野さんは語ります。

コロナ禍で、活動やイベントが中止や延期に追い込まれる中で、マスク着用やオンラインでの実施など、できる限りの努力を重ねてきた活動の様子が紙面から伝わってきます。また時代に合わせた新たな活動のスタートや運営面での進化もあり、アイデアを持ち寄り、工夫を凝らしてきた、友愛の心を忘れない活動ばかりです。

最後に、小野さんは、「この10年の歩みを年表にまとめた時、『はまだより』バックナンバーが貴重な史料となりました。10年間、日々の出来事の積み重ねに他なりません。それを記録し続けてきた『はまだより』は、いわば支部の日記のような存在かもしれませんね。どうぞ同封の『支部設立40周年記念号』をご高覧ください」と笑顔で語ってくれました。

パナソニックのスポーツ ② 女子陸上部「パナソニック エンジェルス」

パナソニック女子陸上部「パナソニック エンジェルス」は、1987年の創部以来、横浜を活動拠点に活躍しています。

今回、佐藤ゼネラルマネージャーと丸山統括ディレクターにお話を伺いました。

今年4月、パナソニック エンジェルスの体制が大きく変わりました。事業会社制に伴い、パナソニック スポーツ株式会社に委託される形となり、チームの強化、運営が行われることになりました。引き続き、『横浜から世界へ』をスローガンに、スポーツを通じてパナソニックブランドの向上に取り組み、挑戦しています。

選手たちは、毎日6時からの朝練習、午前中は部室で実務やビジネススキル・知識を習得。午後の本練習では三ツ沢公園陸上競技場やトレーニングルームでの練習に挑みます。今年4月には新人2名(伊藤選手、川口選手)が入部。選手たちは選手権大会や記録会などで活躍し、続々と自己新記録が更新されています。

特に、森田香織選手は、東京マラソンで日本人3位となり、MGC(マラソンブランドチャンピオンシップ)出場権を獲得。来秋のパリ五輪日本代表選考会に出場が決定しています。

今年は3年ぶりにアメリカ・アルバカーキで9月に合宿が行われ、全員が参加。コンディションもよく、現在は11月27日(日)の第42回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クイーンズ駅伝)を目標に日々練習に励んでいます。

この大会は、昨年、一昨年と無観客開催となり、「拍手声援の無い競技場はとても寂しく、改めて皆さんの応援が選手・スタッフの心の大きな支えと実感しました」と佐藤さんは語ります。

最後に、丸山さん、佐藤さんからメッセージ。「横浜という地域を同じくする松愛会の皆さん、力強い応援をお願いします。ぜひチームや選手のSNSへのフォロー(メッセージ・いいね等)もお願いします」。

パナソニック女子陸上競技部: <https://panasonic.co.jp/sports/angels/>



(後列左から)内藤早紀子選手、森田詩織選手(キャプテン)、森田香織選手
(中列左から)中村優希選手、堀 優花選手、
信櫻 空選手、渡邊菜々美選手
(前列左から)伊藤南美選手、川口幸奈選手



事務局の皆さん(左から)都守聖子さん、佐藤ゼネラルマネージャー、丸山統括ディレクター

支部役員だより

日々マルチアクティブに

横浜東支部
副支部長 清水 伝夫

在職中は、通信工業 AVシステム・視聴覚事業部でビデオカメラなど、設計開発・CAD導入など担当しました。松愛会横浜東支部で役員8年、副支部長を拝命2年目になります。

定年後、趣味の海釣り、旅行、庭の草木手入れ・家庭菜園、家のDIY、麻雀等々、「マルチアクティブに」をモットーに、止まったら生きられない「マグロ」のように活動しています。

釣りは、現役から「釣りキチ」で、主に三浦半島を拠点に、船釣りで真鯛・イサキ・太刀魚・鰻・イカ等 ピーク時は月3回以上、最近は月1回になり、少なくなりましたが、海釣りを楽しんでます。

家庭菜園は、定年後、庭の芝生の一部に、夏はキュウリ・ミニトマト・絹サヤ等、冬はニンニク・春菊（種から）など栽培（自給自足）しています。猛暑対策（グリーンカーテン）としてゴーヤ、キウイ棚で実施しています。

今年は「月下美人」が咲きました。優美な香りを漂わせ、大きく開いた純白の花は一夜だけの楽しみ。美人薄命に例えられるこの花は、1日花と言われ夕方から咲き始め、朝には萎んでしまいます。サボテンの花も咲きました。これも地球温暖化の影響でしょうか。外壁・フェンスには、つるバラ・時計草など、いつもこまめな剪定手入れが必要です。



月下美人

日々、マルチアクティブに活動する背景には、30歳で胃、50歳で大腸手術、その後、数回腸閉塞で入院等した経験があり、健康の大切さを痛感しているからだと思っています。

当時、私は、かなりのヘビースモーカー。職場でも喫煙できていた時代です。海外出張時に、飛行機内でも一部の席で喫煙可能でしたが、20年ほど前に全面的に禁煙になってからは、7～8時間のフライトは苦しい思い出しかありません。その後、胃手術で一度禁煙したもののリバウンドしてしまい、大腸手術を契機に、以降、禁煙が続いています。毎年の胃、大腸カメラ検査は欠かせません。禁煙・喫煙を経験し両者の気持ちを理解することができます。

そんな私ですが、現在は、山さんと一緒に健康づくりを担当しています。健康寿命を延ばすために、健康づくり「食の健康オンラインセミナー」を11月5日に企画しましたので、皆さんのご参加お待ちしております。



月1の海釣りを楽しむ清水さん



自慢の家庭菜園

(8月1日～9月30日の報告分) 敬称略・順不同 会員情報	入会 どうぞよろしく	石川 哲、野呂義則、渋谷 卓、山本剛司、東川浩二、鉄田雅己、石橋幸一、大槻美賀子、川崎哲也 (転入) 納本恭行
	長寿祝 これからもお元気で	(米寿) 佐野一郎、津坂義弘、中村圭一 (喜寿) 須田隆治、福田雄一、小島 猛、森戸杉夫、築地三郎、小林良廣、川崎秀敏、光澤 彬、高橋健男、大津健二、三浦興巳、豊田興太郎、宮崎 博、吉川 裕、金子義勝、高橋紀邦、安齋暢雄、末次喜世司、露崎典男、蜂須賀益美、坪根和文
	金婚祝 お二人仲良くご健康で	北野利男、常盤典男、田端敦美

訃報 (8/1～9/30報告分のご逝去) 心からお悔やみ申し上げます	7/8 竹中正州さん (90)、7/26 真船裕雄さん (85)、8/10 小寺豊春さん (85)、 8/13 堀 憲二さん (89)、8/20 渡辺識夫さん (88)、9/1 岩崎文夫さん (78)、 9/25 今井 嵩さん (93)、9/28 鈴木久雄さん (90)
--	---

ぶらり会

- 第512回 「紅葉の高尾山ハイキング」**
 11月12日(土) 京王線 高尾山口駅 改札前 午前10時集合
- 第513回 「逗子やまなみの道散策」**
 11月24日(木) JR横須賀線 逗子駅 改札前 午前10時集合
- 第514回 「忘年会」(詳細未定)**
 12月7日(水) ※詳細は「ぶらり会」HPでお知らせします。
- 第515回 「多摩川スカイブリッジを歩こう」**
 12月10日(土) 京急大師線 川崎大師駅 改札前 午前10時集合

H P 変更等は
 ↓ 参照



*雨天の場合は中止
 *参加希望の方
 当日、指定場所・時間までに集合
 *参加費 200円
 昼食、飲物、雨具等は各自で用意ください
 (世話役) 村田秀夫さん 045-821-0465
 ※ご参加の際、マスク着用や3密回避等の
 新型コロナ対策をお願いします。

農業ボランティアに生きがい 農家の支援と仲間たちとの楽しみと 野々村 英一さん(74歳) 横浜市都筑区

農業経験ゼロでも新たな挑戦

取材の日はいよいよの猛暑日でした。熱中症対策で水分を補給しつつ仲間と一緒にぶどうの高級品種・シャインマスカットの糖度を測る野々村さんは「20度を越えたぞ」と大喜びです。場所は横浜市都筑区東方町の東京ドームとほぼ同じ広さの広大な農園「マルイファーム」。園主の石川輝雄さんの農作業を手伝いする仲間たち「都筑農業ボランティアの会」の元会長として野々村さんはリーダーシップを発揮してきました。それは横浜東支部の支部長時代とも重なります。

野々村さんはパナ在職中、補聴器の開発技術者として活躍し、松下幸之助創業者にも直接説明し、使っていただいた経験があります。早期退職後も外資系の補聴器の会社に勤めていましたが、2009年の61歳で現役引退を機に何か新しい意義ある取り組みを始めようと、区が募集していた農業ボランティアに応募したのです。当初の参加者は12名。農業経験など全くない人もいて、その1人が野々村さんでした。同年8月にスタートした活動は当初週3回。10月からはブルーベリーの土づくりなどに取り組みました。最初は無名の集団でしたが、区のボランティア助成金を獲得するために、2013年3月に現在の会の名称を決め、会則や事業計画の策定など体制を整える仕事を野々村さんが中心となって進めました。区の助成金は2年間の期限付きでしたが、期限が切れた後も、基礎固めができていた会の体制は変わりませんでした。

お客さんにも人気で販売好調

現在の会員数は54名。多くが定年退職後の人たちですが、中には人生を賭けて農業に転身しようとする人もいます。そうした人たちに園主の石川さんは決して勧めようとはしません。農業は絶対に容易な仕事ではないからです。それは野々村さんも痛感します。農業は自然との闘いでもあるからです。日照り、大雨、鳥獣被害など作物の敵はいくらでもあります。しかし収穫した作物をみんなで分け合う時の笑顔は皆さんとても素敵です。新鮮な野菜を食べているせいか顔色も輝いています。そして何といても張り切るのは直営販売所でのお客さんへの販売です。毎週水・土曜日の14時開店ですが、朝から袋詰め作業をして開店に備えます。お客さんたちも待ちきれずに早くから行列ができています。取材日に店内に並んだのはスイカ、ナス、キュウリなど採れたばかり。トマトは早々に売り切れました。マルイファームでは家具・インテリアの大型店IKEAと都筑区役所でも定期的に野菜販売を行っており、ボランティアの会員が販売を担当しています。

日本の農業を支える役割

2016年に農林水産省が公表したレポートによると、現在の日本の農業従事者は65歳以上が60%を占め、40代以下が10%という状況で、農業は高齢化と後継者問題そして人手不足という課題に直面しており、新規就農者を確保する施策の一環として「援農ボランティア」の活用があげられています。「都筑農業ボランティアの会」の取り組みは日本の農業を支える大事な活動なのです。そのためJAからも注目され、2018年9月には全国代表者50名もの視察がありました。またフジテレビ系の情報番組「めざましテレビ」からも取材を受けて、農業経験の無い若手タレントが会の農作業を手伝う様子とともに野々村さんのコメントが2019年12月に放送されました。

とにかく楽しいことが大好きな仲間たち

野々村さんはそうした大きな課題は自覚した上で、「会は我々にとって楽しい交流の場なのです。農作業だけでなく、懇親会や宿泊旅行、バーベキューなど、とにかく楽しいことが好きな仲間の集まりです。これからも大事にしていきたい」と語っています。

都筑農業ボランティアの会 HP : enonom.web.fc2.com

(レポーター・広報委員 小野 喜一)



園主の石川輝雄さん(右)と談笑する野々村さん



ブルーベリーを一粒ずつ選ぶ



たわわなシャインマスカットの下で仲間と



直営販売所は14時オープンと同時にお客さんで埋まる



マルイファームは土地も空も広い